

平野信行名誉教授主要著作目録

論文

兵士の「報酬」の問題——フォークナーの作品評価上の『サートリス』の位置「人文科学研究」9（一橋学会）一九六七年

ウィリアム・フォクナー——人と作品「一橋論叢」五七巻四号 一九六七年

Reconsideration of Moral Order and Disorder in Faulkner's Works *Hitosubashi Journal of Arts and Sciences* Vol. 8 No. 1
一九六七年

Party と Monster——スタインベックと一九三〇年代「アメリカ文学」一五 一九六七年

『サートリス』評価の問題点「アメリカ文学研究」四 一九六七年

二つの「死」の意味するもの——ヘミングウェイとドス・パススにおける政治意識の問題「一橋論叢」六十巻三号 一九六八年

How tou Make Both Ends Meet——A Partial Approach to the American Writers in the Nineteen-Thirties *Hitosubashi Journal of Arts and Sciences* Vol. 9 No. 1 一九六八年

Black Humor の世界の住人たち 「言語文化」五号 一九六八年

「アメリカの夢」の崩壊と「新しい国家」像の形成 「一橋論叢」六一巻二号 一九六九年

『三人の兵隊』序文と作家の自由 「アメリカ文学」69 一九六九年

文化の変化と変容 「言語文化」六号 一九六九年

フレデリック・ヘンリーの短い幸福な生活 石一郎編『ヘミングウェイの世界』荒地出版社所収 一九七〇年

Between "NO WAY OUT" and "WAY OUT" *Hitoisubashi Journal of Arts and Sciences* Vol. 12 No. 1 一九七二年

シローロム・アレイヘムの黒いユーモア 「アメリカ文学」71 一九七二年

シローロム・アレイヘムの世界 「一橋論叢」六八巻六号 一九七二年

シヤローム・アレイヘム——現代ユダヤ系アメリカ作家の先駆者 「一橋論叢」七一巻四号 一九七四年

Nathanael West と「成功の夢」——*A Cool Million* 解釈の試み 「言語文化」十一号 一九七五年

アメリカ自然主義と「アメリカの夢」——シオドア・ドライサーの場合 「一橋論叢」七六巻五号 一九七六年

ユダヤ啓蒙運動家としてのアイザック・レイブッシュ・ペレツ 「一橋論叢」七七巻五号 一九七七年

アメリカ南部の Vernacularism 「言語文化」別冊 一九八六年

「本の友の家」と「シェイクスピア・アンド・カンパニー」「言語文化」三十号 一九九三年

著作・翻訳

大橋健三郎編『現代作家論 ウィリアム・フォークナー』（早川書房）の年譜・書誌を担当・一九七三年

サムエル・モリソン『アメリカの歴史』三（共訳）集英社 一九七一年

フィリップ・ロス『ルーシーの哀しみ』（共訳）集英社 一九七二年

ジョン・ドス・パソス『U・S・A、(一)』（共訳）岩波書店 一九七七年

ジョン・ドス・パソス『U・S・A、(二)』（共訳）岩波書店 一九七八年